

# 株式会社 エヌ・ピー・シー

## 2013年8月期 決算説明会資料



代表取締役社長 伊藤 雅文  
2013年10月11日



### 2013年8月期決算概要

## 連結損益計算書

(単位:百万円)

	2012年8月期		2013年8月期						
	通期		上期		下期		通期		
	金額	百分比 (%)	金額	百分比 (%)	金額	百分比 (%)	金額	百分比 (%)	前期比 (%)
売上高	9,446	100.0	1,946	100.0	2,584	100.0	4,530	100.0	-52.0
売上総利益	1,241	13.1	323	16.6	146	5.7	469	10.4	-62.2
販売管理費	2,187	23.2	984	50.6	1,024	39.6	2,008	44.3	-8.2
営業利益	-945	-10.0	-660	-33.9	-878	-34.0	-1,538	-34.0	-
経常利益	-1,194	-12.6	-355	-18.2	-779	-30.1	-1,134	-25.0	-
特別利益	190	2.0	-	-	231	8.9	231	5.1	21.6
特別損失	539	5.7	-	-	1,306	50.5	1,306	28.8	142.3
税引前当期純利益	-1,543	-16.3	-355	-18.2	-1,854	-71.7	-2,209	-48.8	-
当期純利益	-1,806	-19.1	-372	-19.1	-1,876	-72.6	-2,248	-49.6	-

(注) 前期比はその増減比であります。

Copyright © 2013 NPC Incorporated. All rights reserved.

# 2013年8月期決算概要

## 貸借対照表

(単位:百万円)

(連結ベース)	2012/8期末 (実績)		2013/8期末 (目標)	2013/8期末 (実績)	2013/8期末 (※)
受取手形及び売掛金	1,396		1,596	1,357	1,357
仕掛品	3,875	→	3,475	1,686	2,445
原材料及び貯蔵品	749		549	647	790
前受金	444		744	442	442
キャッシュの確保			+700	→	+1,426

→ 売掛金の回収の徹底が進む一方で売上の減少が影響

→ 仕掛品の圧縮の進捗及び評価損の計上、受託加工に活用し投資金額を抑制

→ 受注の減少により未達

(※) 評価損の影響を除いた実績値

## 損益計算書

- 太陽電池メーカーは既存設備の稼働率の向上で需要増に対応
  - 受託加工ビジネスは2014年8月期以降の業績に本格的に寄与
  - 装置の受注は底打ちし、緩やかに回復傾向 (大手顧客の置換/改造、アジア地域の増産需要等)
  - 販売管理費: 前期比179百万円減(-8.2%) ※貸倒引当金を除くと前期比415百万円減(-19.0%)
  - 再編に係る費用計上による損失の発生: 222百万円 キャッシュ・フローに与える影響は軽微
- 売上高は低調に推移

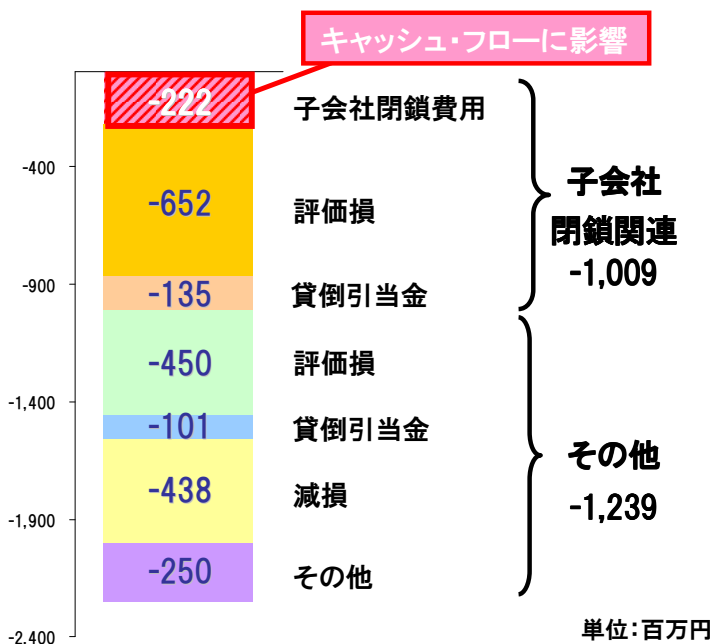
Copyright © 2013 NPC Incorporated. All rights reserved.

## 子会社の再編

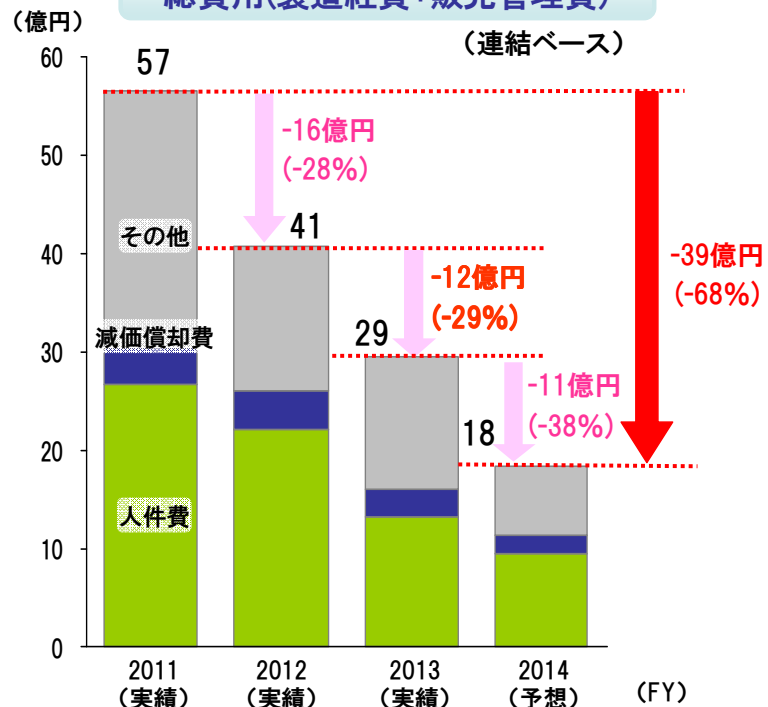
閉鎖した子会社	NPC-Meier GmbH	NPC Taiwan Co., Ltd.	NPC Korea Co., Ltd.
所在地	ドイツ	台湾	韓国
閉鎖時期	2013年9月30日	2013年8月31日	2013年8月31日
2013年8月期販管費(※)	576百万円	16百万円	20百万円
閉鎖の背景	欧州PV市場停滞 →欧州製モジュールの低迷 →欧州メーカー弱体化 →顧客撤退	メーカーの統廃合進行 →プレーヤーの明確化	
閉鎖の目的	固定費の削減、営業/技術サポート効率化		
閉鎖の効果	収益性改善		

(※) 為替レート:1EUR=130.05円、1NTD=3.27円、1KRW=0.08円 子会社の決算時期はすべて7月末日

## 当期純損失(2,248百万円)の内訳



## 総費用(製造経費+販売管理費)



- ・純損失の約45%が子会社の閉鎖に伴う損失
- ・将来的なキャッシュ・フローへの影響は限定的

総費用29%削減(前期実績比)

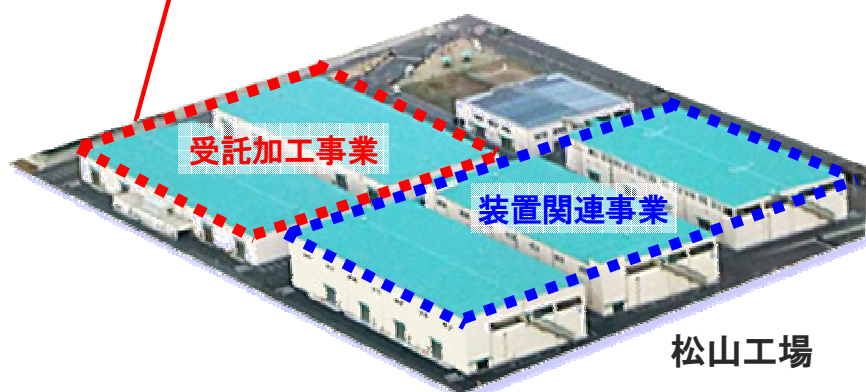
## 太陽電池モジュール受託加工

**大手国内メーカー2社と長期大型契約を締結、2つの加工ラインが本格的に稼働**

生産規模: 約150MW/年 生産規模の拡大を検討中

毎月一定額の売上計上が可能 2014年8月期は100億円以上の売上を見込む

- ・2013年6月と9月より各加工ラインが本格的に稼働
- ・品質面について高い評価を獲得
- ・リースバック契約を活用し、キャッシュ面での負担を軽減



Copyright © 2013 NPC Incorporated. All rights reserved.

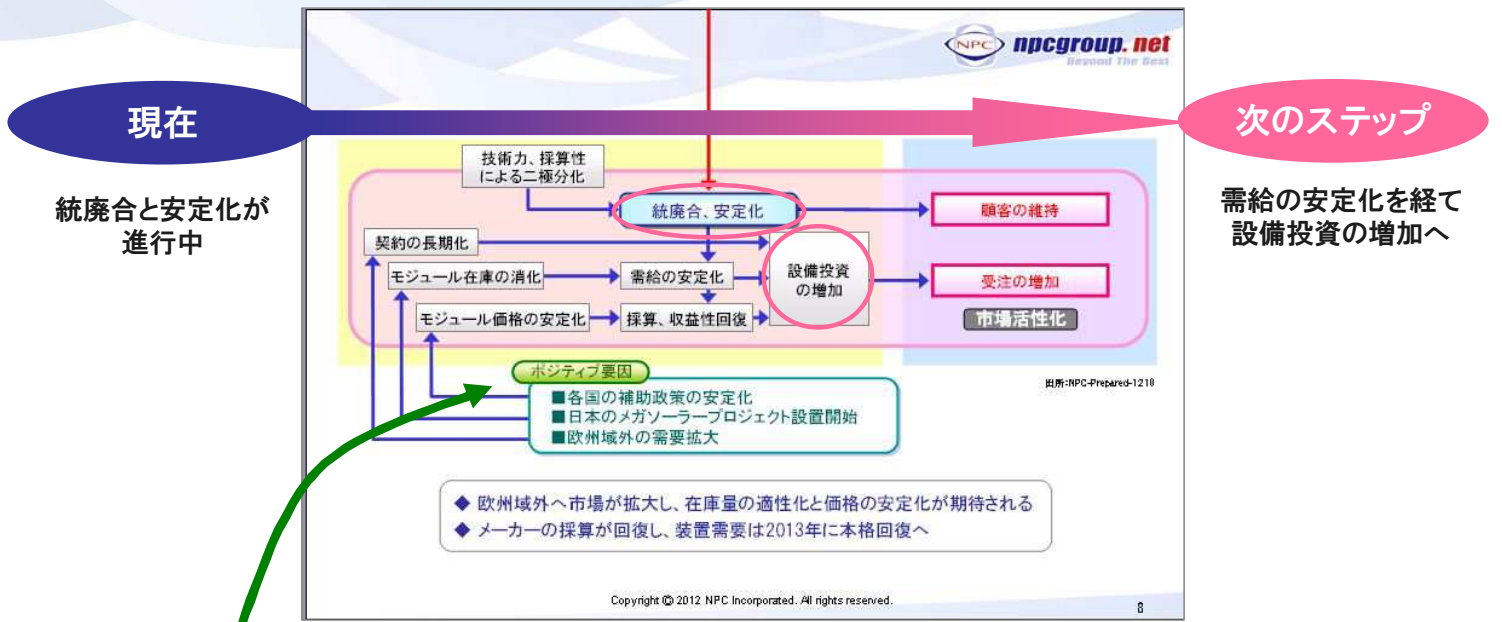


6

## 太陽電池市場

7

# 太陽電池市場：現状と今後の予測①



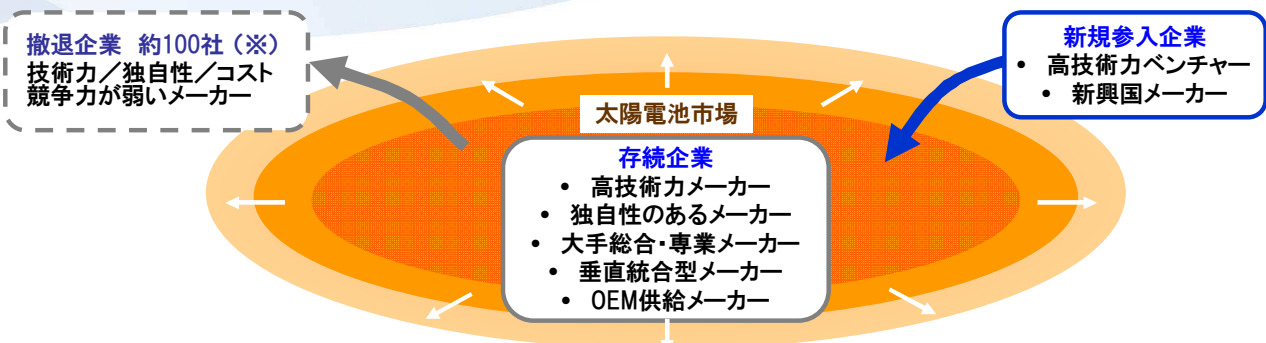
2012年10月決算説明会資料より

## ポジティブ要因追加事項

- 想定を上回る日本市場の成長
- 中国の補助政策の安定化
- 中国の補助金等国内需要喚起政策
- 北米市場の安定的な成長
- 中国-欧米貿易問題の解消
- 新興国の導入促進政策
- 中国政府によるメーカー統廃合の動き

Copyright © 2013 NPC Incorporated. All rights reserved.

# 太陽電池市場：現状と今後の予測②



	発電効率引き上げに向けた各社の取組	当社の対応
結晶系	・多結晶セルから単結晶セルへ ・P型シリコンからN型シリコンへ	各種セルに対応した装置展開
	セルの高効率化20%超 (HITセル、両面受光セル等)	・高効率セル対応セルテスター ・CP/CF対応配線装置
	新素材、新配線方法の取り入れ	・LHSリボン/CP/CF対応新規配線装置及び既存装置の改造 ・ガラス受光面のコーティング剤
薄膜系	モジュールの仕様変更による並列回路・低電圧化	既存装置の改造
	モジュールの大型化、軽量化	新規メーカーと共同での取組

設備投資の必要性の高まり： 新規設備の導入、既存装置の改造/置換

## 2014年8月期の取り組みと業績予想

## 2014年8月期の取り組み(方針)

### 方針

### 利益とキャッシュを重視した経営

#### 装置関連事業

売上総利益率20%台の土台をつくる

#### 受託加工事業

中期的に売上総利益率5%を目指す

#### 新規事業

利益獲得の柱を増やす(川下への事業展開)

#### 現預金残高

前期末比6億円の向上を目指す

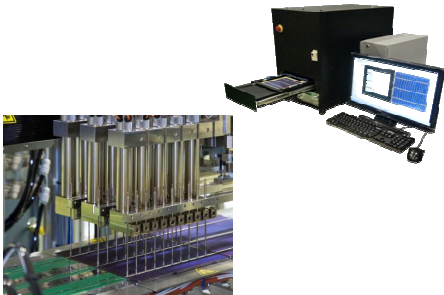
## 2014年8月期の取り組み①

### 装置関連事業:売上総利益率20%台の土台をつくる

#### 開発面

##### 既存装置の付加価値の向上

- ・セル自動配線装置の高速化
- ・新型セル対応セルテスター
- ・新素材対応セル自動配線装置
- ・多機能レーザー検査装置
- ・改造/移設対応

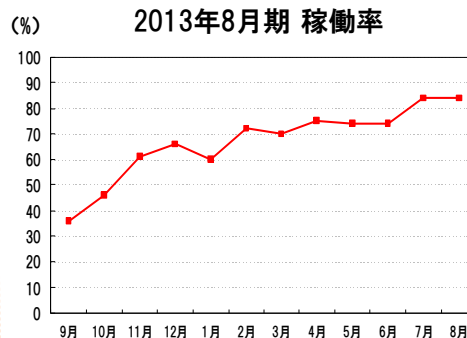


高い利益率を確保

#### 生産面

##### 生産効率(稼働率)の向上

- ・製造部門体制の最適化
- ・効率的なアウトソーシング
- ・改造/移設作業による稼働向上



稼働率80%以上を維持

#### 販売面

##### 当社の強みを活かした営業

- ・世界No.1の納入実績
- ・主要顧客との深い関係

##### ◆メインプレーヤー

日本、北米、アジア(中国・韓国・台湾  
フィリピン・マレーシア・シンガポール)

##### ◆新規プレーヤー

北米(高技術カベンチャー)  
新興国メーカー

- ・カスタマーサービス  
NPC、NAC(米国)、NCC(中国)の  
緊密な連携によるサービス

売上高を確保

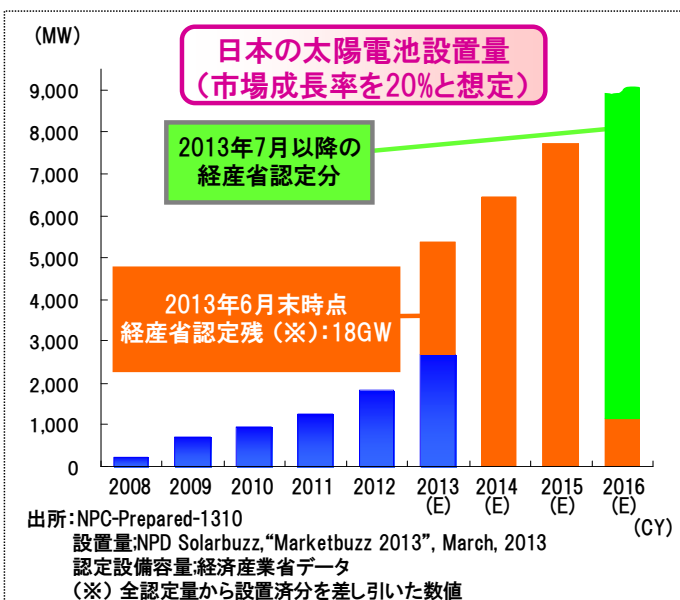
Copyright © 2013 NPC Incorporated. All rights reserved.

## 2014年8月期の取り組み②

### 受託加工事業:中期的に売上総利益率5%を目指す

#### 売上面 長期的・安定的な売上

- ・日本の太陽電池市場の急成長
- ・生産規模の拡大を検討中
- ・契約に基づく安定的な月次売上



#### 原価面 生産性の安定化

装置メーカーとしてのノウハウや経験を活用

- ・ハイレベルな設備メンテナンス  
→ 稼働率と歩留りの向上
- ・設備改造による自動化  
→ 生産効率の向上



Copyright © 2013 NPC Incorporated. All rights reserved.

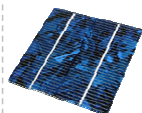
新規事業:利益獲得の柱を増やす(川下への事業展開)

太陽電池製造工程

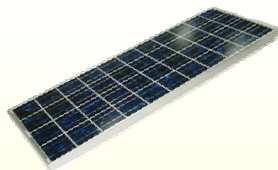
ウェハー化



セル化



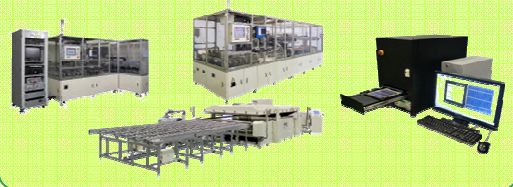
モジュール化



システム化



製造装置事業



受託加工事業



PVシステム関連事業

- ◆ パワーコンディショナー
- ◆ メンテナンスサービス
- ◆ メンテナンス用検査装置
- ◆ メンテナンス関連材料



PV業界におけるノウハウ・経験を川下の工程に展開

現預金残高:前期末比6億円の向上を目指す

内 訳	金 額	内 容
営業活動(※)	+10.6 億円	利益、棚卸資産の増減、売上債権・仕入債務の増減等(子会社閉鎖費用の2.2億円の支出を含む)
リースバック契約	+4.6 億円	受託加工ラインのリースバック契約に伴う収支
補助金収入	+1.3 億円	愛媛県からの補助金
固定資産の取得	-2.9 億円	受託加工ラインの設備投資
長期借入金の返済	-7.0 億円	長期借入金の残高を8億円強まで減少させる
利息の支払	-0.6 億円	短期及び長期借入金の利息
合 計	+6.0 億円	

(※) 営業活動によるキャッシュ・フローの小計



連結損益計算書

(単位:百万円)

	2013年8月期実績		2014年8月期予想		
	金額	百分比(%)	金額	百分比(%)	前期比(%)
売上高	4,530	100.0	17,443	100.0	285.1
装置関連事業	-	-	5,650	32.4	-
受託加工事業	-	-	11,793	67.6	-
売上総利益	469	10.4	1,522	8.7	224.5
装置関連事業	-	-	1,119	19.8	-
受託加工事業	-	-	403	3.4	-
販売管理費	2,008	44.3	1,103	6.3	-45.1
営業利益	-1,538	-34.0	419	2.4	-
経常利益	-1,134	-25.0	286	1.6	-
特別利益	231	5.1	(※) 134	0.8	-42.0
特別損失	1,306	28.8	(※) 350	2.0	-73.2
税引前当期純利益	-2,209	-48.8	69	0.4	-
当期純利益	-2,248	-49.6	38	0.2	-

(※) 特別利益として、愛媛県からの補助金を見込んでおります。特別損失として、為替換算差額調整の取崩を見込んでおります。

(注) 前期比は、その増減比であります。

まとめ

	2013年8月期	2014年8月期	2015年8月期
外部環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>•PV市場の低迷継続</li> <li>•太陽電池メーカーの統廃合進行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>•太陽電池メーカーの統廃合完了</li> <li>•プレイヤーの明確化</li> <li>•日本市場の成長</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>•装置需要の本格的回復</li> <li>•日本市場のPVシステム本格稼働</li> </ul>
当社の取組	再編と適正化	強固な経営基盤の構築	事業再拡大
装置関連事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>•主要顧客の堅持</li> <li>•損失を最小限に抑制</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>•売上総利益率20%台の土台づくり</li> <li>•プレイヤーとの継続的なビジネス堅持</li> </ul>	受注・売上の本格的回復
受託加工事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>•大手2社との長期契約締結</li> <li>•事業立上げ</li> </ul>	生産の安定化	生産規模拡大
PVシステム関連事業	市場調査、事業化準備	事業立上げ	業績へ本格寄与

NPCグループは、  
「我々は、もの創りを通して、自然と社会と人間に必要とされる企業を目指します。」  
という企業方針にのっとり、たゆまぬ技術革新の努力により創り出す製品を通じ、地球  
環境、地域社会等に貢献して参ります。

## IR問い合わせ窓口

株式会社エヌ・ピー・シー      企画情報部

電話      : 03-5615-5069      FAX      : 03-3801-0721  
E-Mail    : npc.ir@npcgroup.net

### <将来見通し等に関する注意事項>

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業界等に関する記述につきましても、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。